

2019年5月29日

旭化成株式会社

シーズプラス

**新中期経営計画『Cs+ for Tomorrow 2021』の発表について**

当社グループでは、2019年度より3カ年の新中期経営計画『Cs+ for Tomorrow 2021』をスタートさせましたのでお知らせします。

前中期経営計画「Cs for Tomorrow 2018」は、多様な“C”（Connect, Communication, Challenge, Compliance）をキーワードに、将来の飛躍への基盤づくりを進めました。新中期経営計画『Cs+ for Tomorrow 2021』では、従来の“C”による基盤づくりを継続しつつ、当社グループが社会に貢献し、価値を提供していく方向性を明示し、当社グループの今後のあり方と戦略を示すものです。

持続可能な社会の実現に向けての課題が、世界のさまざまな場面で議論されています。新中期経営計画では、人と地球の持続的な発展にこれからも貢献していく当社グループの姿勢を「Care for People, Care for Earth（人と地球の未来を想う）」と表現しました。当社の特徴である「多様性」「変革力」を活かしながら、持続可能な社会への貢献と、持続的な企業価値の向上を図っていきます。

計数面では、3年間で約8,000億円の長期投資を行い、2021年度に売上高2兆4,000億円、営業利益2,400億円（営業利益率10%）を実現し、2025年度には売上高3兆円、営業利益3,000億円以上（営業利益率10%以上）を展望します。一株当たり当期純利益（EPS）を成長させるとともに、安定配当と継続的な増配を目指します。

**1. 前中期経営計画「Cs for Tomorrow 2018」（2016～2018年度）の総括**

当社グループは「Cs for Tomorrow 2018」に基づき、飛躍に向けた基盤づくりを進め、「自動車」「環境・エネルギー」を中心に設備投資やM&Aなどによる約6,700億円の長期投資を決定しました。主要計数は、最終年度の2018年度に売上高・営業利益・経常利益で過去最高を更新するなど好調に推移し、利益目標を達成しました。また、増配に加え、自己株式の取得と消却を決定し、総還元性向も目標を上回る39%となりました。

**2. 新中期経営計画『Cs+ for Tomorrow 2021』の取り組み**

- ・『Cs+ for Tomorrow 2021』では、従来の基盤強化を継続しつつ、「Care for People」「Care for Earth」の視点で、5つの分野「Environment / Energy」「Mobility」「Life Material」「Home & Living」「Health Care」での価値提供を進めます。
- ・経営資源配分は、4つの軸「5つの注力する価値提供分野」「収益率」「成長性」「持続可能な社会との親和性」から判断を行い、事業ポートフォリオを転換していきます。
- ・グローバルオペレーション強化、新事業創出、デジタルトランスフォーメーションによる事業高度化を推進します。
- ・新事業創出においては、当社グループの多様なコア技術と、幅広い市場との接点を活かしたマーケティング機能、社内外でのConnectを掛け合わせ、新たな価値創造を図ります。
- ・人財、環境安全・労働安全、品質、リスク管理、コンプライアンス徹底などの事業基盤について、引き続き強化します。
- ・企業価値向上に向けたガバナンス体制の進化を、継続的に検討、実施していきます。

以上の取り組みにより、当社グループは「収益性の高い付加価値型事業の集合体」の実現を目指します。

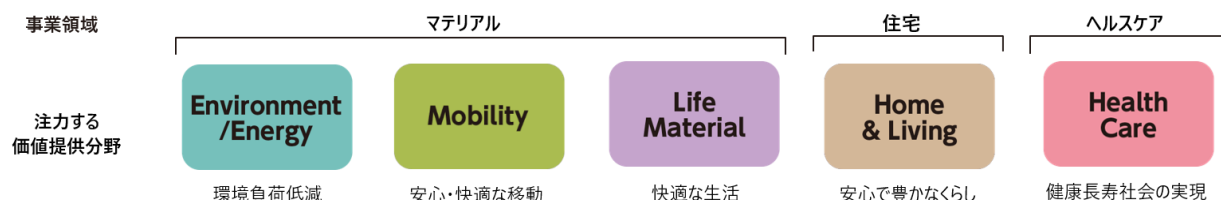
『Cs+ for Tomorrow 2021』の成長戦略および計数目標の概略は以下のとおりです。

(1)基本成長戦略および注力する価値提供分野

① 領域別 基本成長戦略

- 【マテリアル領域】 注力する価値提供分野に経営資源をシフトし、高付加価値事業の拡大を進めます。
- 【住宅領域】 バリューチェーンマネジメントを強化・拡張し、ストック事業・新規事業を成長のドライバーとします。
- 【ヘルスケア領域】 グローバル・ヘルスケア・カンパニーへと進化すべく、海外市場での成長加速を目指します。

② 注力する価値提供分野（詳細については別紙をご参照ください）



(2)計数目標

	2018 年度実績	2021 年度計画	2025 年度(展望)
売上高 (億円)	21,704	24,000	30,000
営業利益 (億円)	2,096	2,400	3,000 以上
親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)	1,475	1,800	} 2021 年度以上の水準を目指す
ROIC ※	8.8%	9.0%	
ROE	11.1%	11.1%	
D/E レシオ	0.31	0.5 目安	

※ROIC=(営業利益-法人税)÷期中平均投下資本

予想・見通しに関する注意事項  
 当りリリースに記載されている予想・見通しは、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

【本件に関する問い合わせ先】  
 広報室 TEL 03 - 6699 - 3008

# (別紙) 注力する価値提供分野

事業領域

マテリアル

住宅

ヘルスケア

基本戦略

価値提供注力分野への経営資源の柔軟なシフト

バリューチェーン・マネジメントの強化・拡張

グローバル・ヘルスケア・カンパニーへの進化のさらなる加速

注力する価値提供分野

**Environment /Energy**

多様な技術で  
(CO<sub>2</sub>ケミストリー～半導体等)  
環境との共生に貢献

**Mobility**

安全・快適・環境技術により  
これからのモビリティ社会に貢献

**Life Material**

特長ある製品と技術力で  
健康で快適な  
日々の生活に貢献

**Home & Living**

都市で培ったノウハウを活かし  
良質な社会ストックと  
豊かな暮らしに貢献

**Health Care**

高齢化が進む社会のニーズを見極め、医薬品と医療機器で健康長寿社会に貢献

Care for People

- 安全・安心
  - ・エアバッグ素材
  - ・アルコールセンサ
  - ・非接触脈波センシング
- 快適空間
  - ・「ラムース」(マイクロファイバースエード)
  - ・低VOC素材
  - ・空調用CO<sub>2</sub>センサ

- 快適・利便
  - ・紙おむつ素材
  - ・5G関連(ガラスクロス等)
  - ・再生セルロース繊維
- 健康
  - ・医薬品・食品添加剤
  - ・殺菌用深紫外LED

- 安全・安心
  - ・60年ロングライフ住宅
  - ・災害に強く、家族を守る家
  - ・資産価値の長期維持
- 快適・健康
  - ・温度環境の良い住まい
  - ・多様な住まい方

- 治療
  - ・急性疾患(救命救急、循環器)「リコモジュリン」、アフェレシス除細動器、「LifeVest」  
心筋梗塞、脳梗塞
  - ・慢性疾患(整形、透析)「テリボン」、「ケブザラ」  
透析、自己免疫疾患
- 安全・安心
  - ・安全なバイオ医薬品の提供「プラノバ」  
(ウイルス除去フィルター)  
バイオプロセス機器

Care for Earth

- クリーンエネルギー
  - ・電池セパレータ
  - ・アルカリ水電解水素製造システム(グリーン水素)
- 省エネルギー・環境改善
  - ・CO<sub>2</sub>センサ
  - ・水処理用ろ過モジュール
  - ・イオン交換膜
- 低炭素社会
  - ・次世代CO<sub>2</sub>ケミストリー
  - ・新規CO<sub>2</sub>分離・回収システム

- 省燃費
  - ・タイヤ用S-SBR
  - ・軽量化素材
  - ・鉛蓄電池用セパレータ
- EV/HEV
  - ・LIB用セパレータ
  - ・LIB用関連素材

- フードロス削減・低環境負荷
  - ・「サララップ」
  - ・「ジップロック」
  - ・水現像・板状感光性樹脂

- 環境
  - ・ZEH/太陽光発電システム等
  - ・高性能断熱材

※緑字は研究開発段階

特に関連するSDGs



新たな視点と価値・事業例